



ヘンリー八世と信託の歴史

立正大学大学院

経済学研究科講師 畠山久志

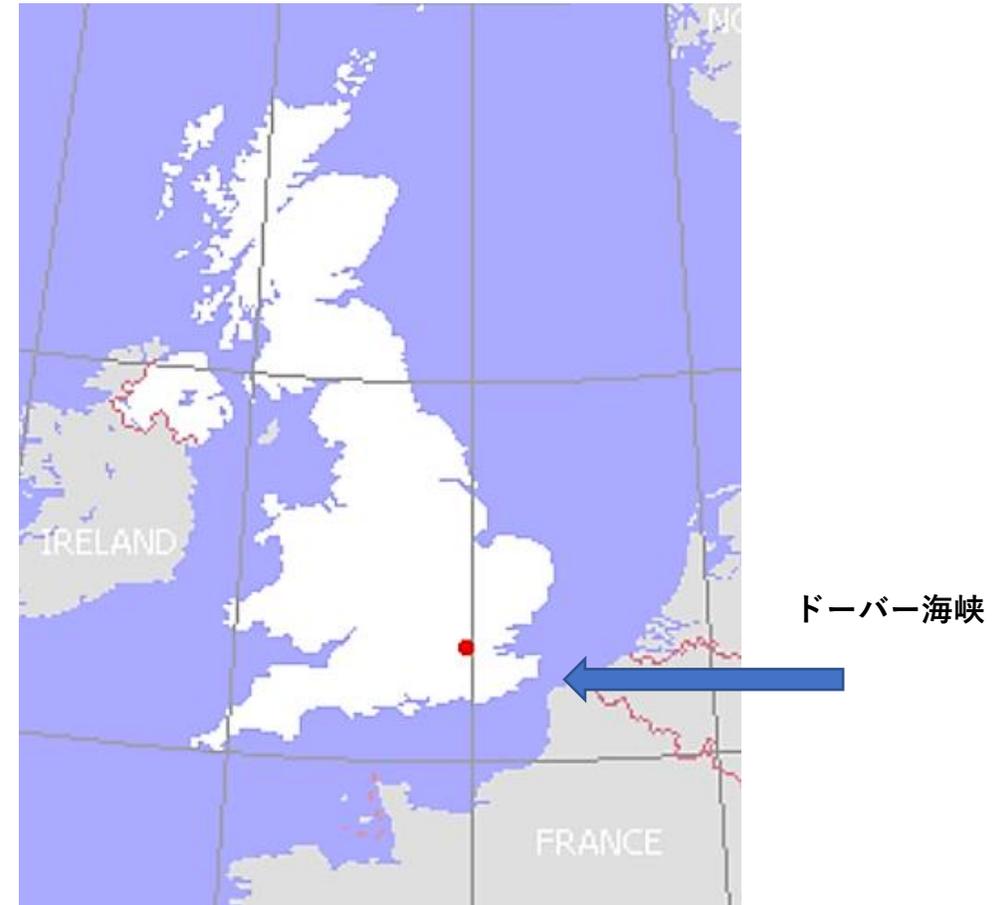
イングランドとフランスの関係

○ イングランドとフランスとは
ドーバー海峡を挟む隣接関係

○ **ノルマン・コンクエスト**

フランス北部ノルマンディー
地区の領主であったギヨーム2世
による英国の征服（1066年）

⇒ **フランス人による
イングランド王朝の成立**



イングランドの土地法

○征服王朝（ノルマン・コンクエスト）であるため
王権の確立として

●**全ての土地の所有権は国王に帰属**

その土地を

主従関係にある諸侯等に**封土として分与**

（封建的土地負担）

一定の場合に返還や税等を賦課

教会等に寄贈（無条件）

イングランド王朝の戦争

○百年戦争（1337年～1453年）

フランスの支配権をめぐるフランス人同士の争
（イングランド王朝も出自はフランス王朝）

⇒国境、国民意識が形成

○バラ戦争（1455～1485/1487）

イングランド国内有力諸侯間の争
ランカスター家とヨーク家の和解により

⇒チューダー朝の成立

ヘンリー七世の登場（ヘンリー八世の父君）

ヘンリー八世の人物像 (1491~1547在位1509~1547)

テューダー朝第2代イングランド王

○毀誉褒貶

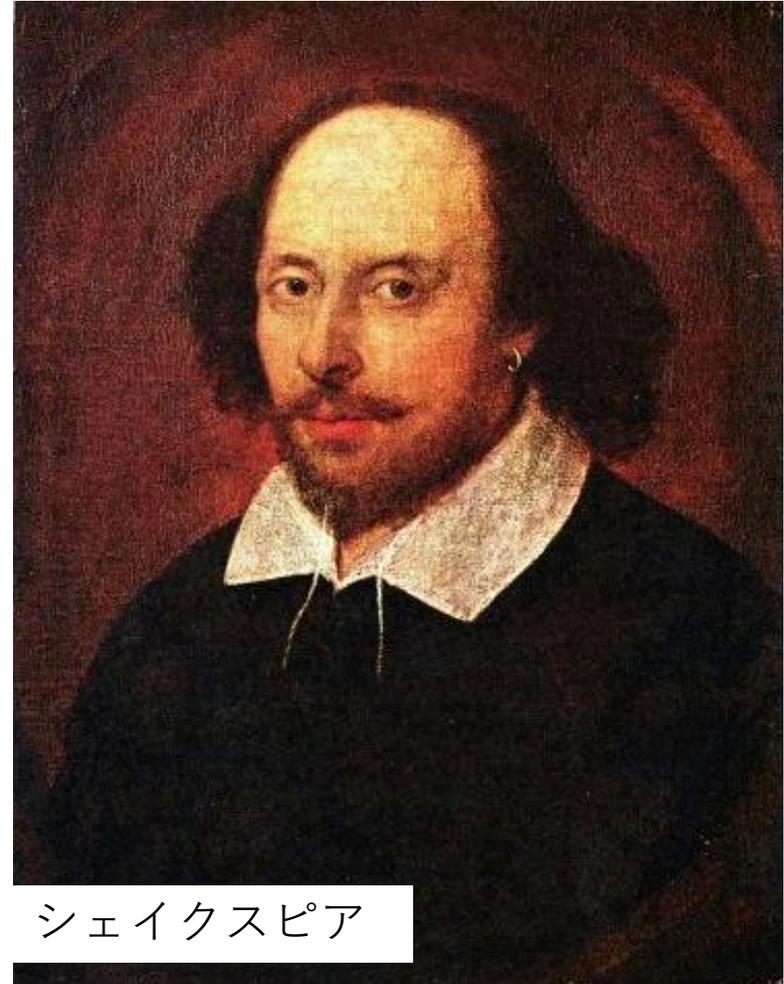
- 魅力的な教養人
(古典 語学 音楽 文筆)
- 馬上槍試合など勇猛
- カリスマ性と老獪さ
- 利己的、好色、無慈悲
(6度の婚姻)



30代のヘンリー八世

シェイクスピア作・歴史劇『ヘンリー八世』 (The Famous History of the Life of King Henry the Eighth)

- ヘンリー八世の生涯を描いたシェイクスピア作の歴史劇
- ヘンリー八世が没してから半世紀後に歴史劇として上演(1612年～)
- 権力の頂点にいたウルジー枢機卿の失脚、最初の王妃キャサリンの高潔さを描写



シェイクスピア

敵対同盟関係の国王（大男たち） 英ヘンリー八世と仏フランソワ一世

身長約1.9m 体重180kg 趣味・馬上槍試合 身長2m超 体重110kg 趣味・レスリング



ヘンリー八世の政治状況（特色）

○宗教改革

国王至上法1536年

（ローマ教皇から独立）

英国聖公会

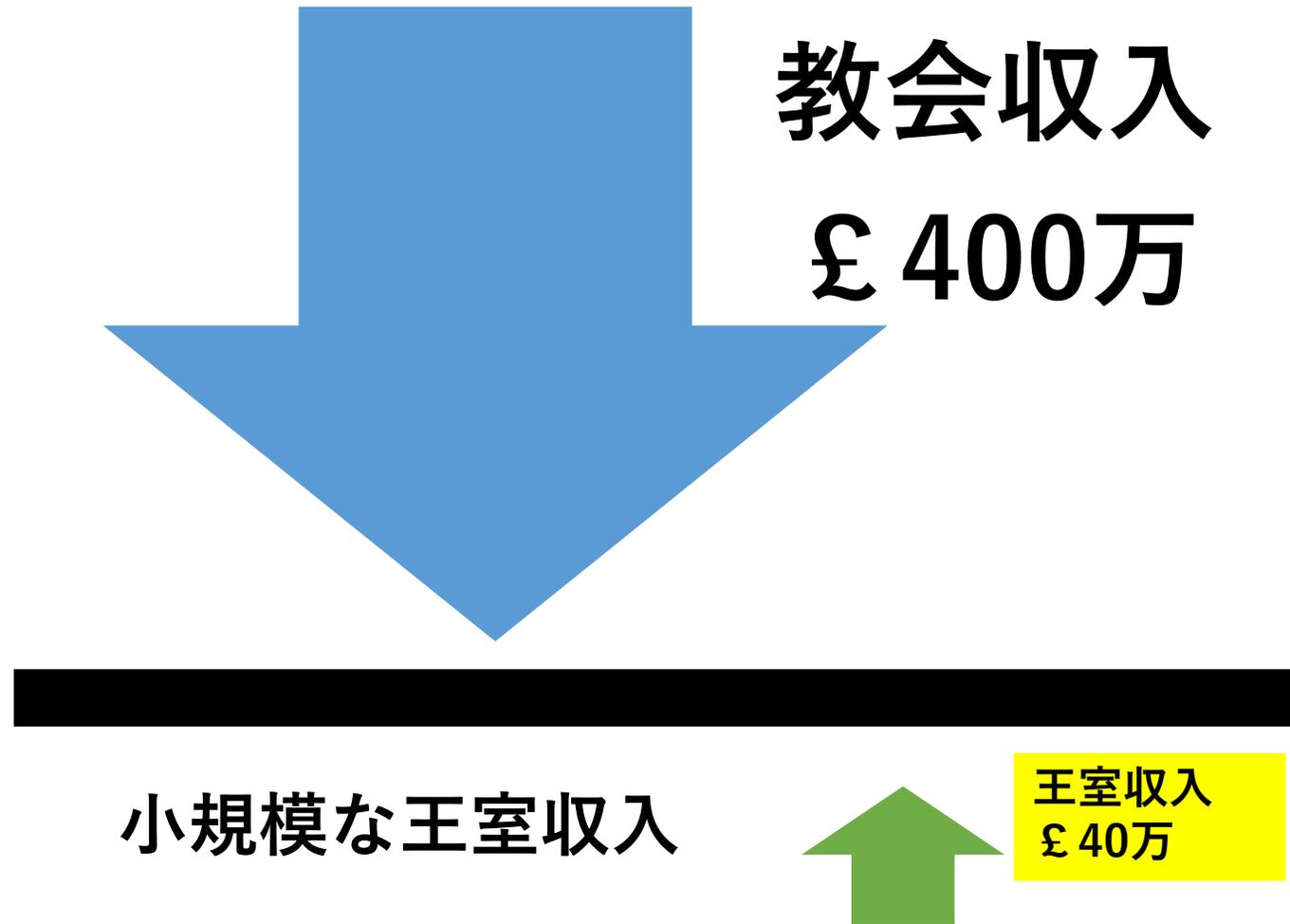
○大陸諸国との戦争

対フランス

対スペイン

対神聖ローマ帝国

当時の王室財政状況 (1535年)



脆弱な財源（収入源は、王室直轄領のみ）

○積極財政支出

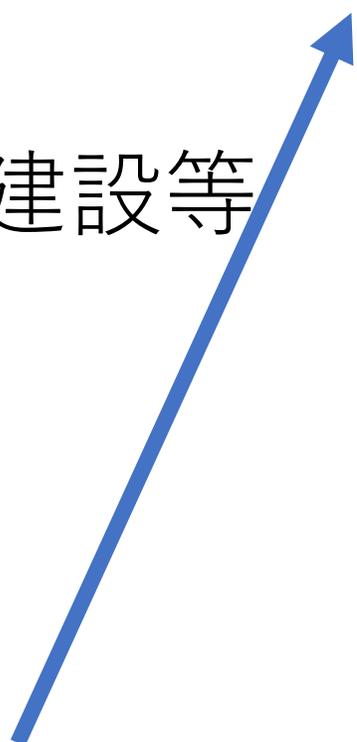
- 対外戦争
- 豪華な宮廷の建設等



財政の逼迫
財源不足

○財政改革（財源確保策）

- 修道院の解散と財産の没収
- 貨幣改鑄
- 王室領収入増加
[封建的土地負担の回復]
- 増税・借入は、反発を招く



王室領収入増加策と障壁

○封建的土地負担回復

不動産復歸（国王直轄）

移転許可税

相続税

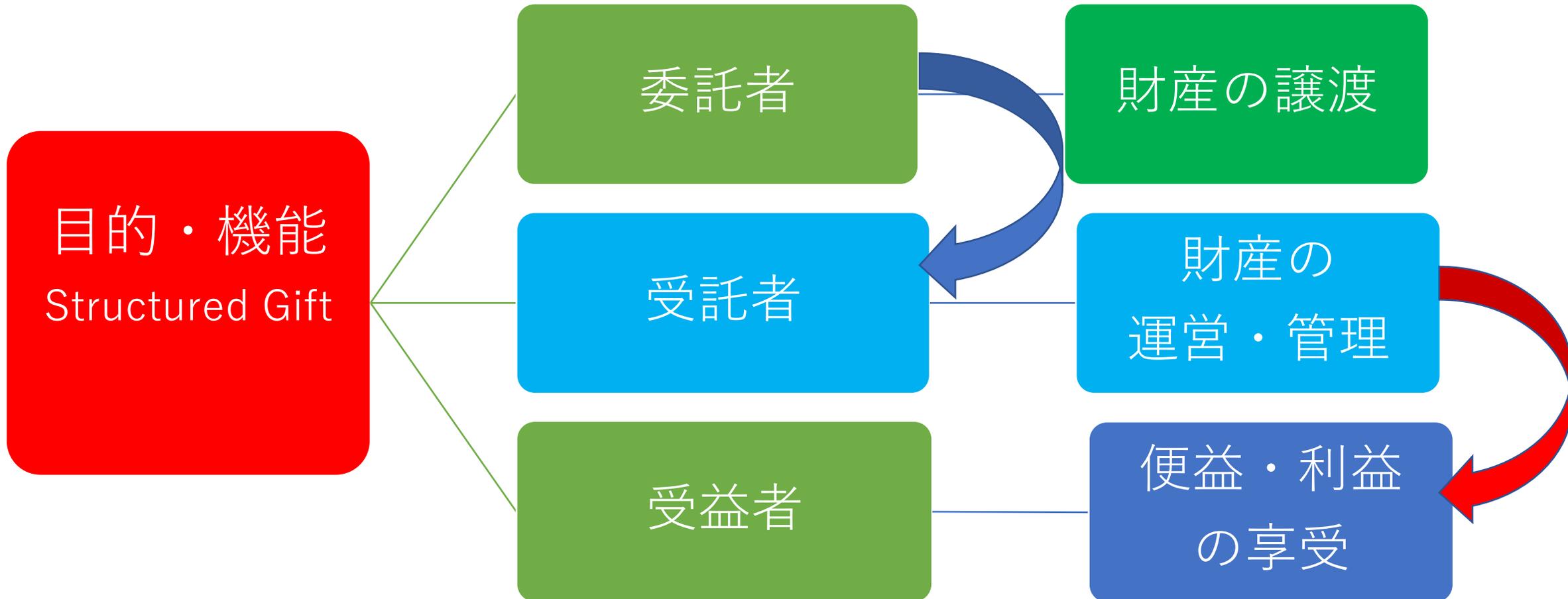
後見と婚姻権税

（生涯権・限嗣不動産権）

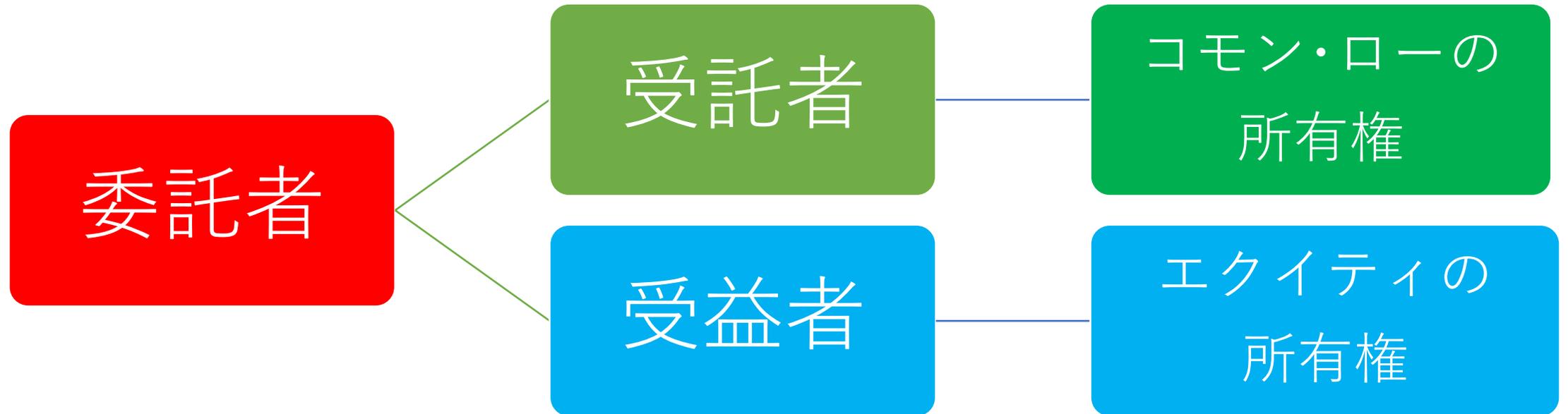
障壁

ユースの存在

ユースとは（利用目的と機能）



ユースの法律構造



ユースの実態

○ユース制度の利用形態

- **消極的（名目的）ユース** ・ ・ ・ 多くのケース
封建的土地負担の回避策（濫用）
（実質的に受益者が所有）
- **積極的（実質的）ユース**
信託目的に則り、便益を受益者に提供

ユース法の制定（1535年）

○濫用目的のユースを禁止するため議会に法案を提出し、ユース法（The Statute of Uses）を制定

●消極的ユースの実質的禁止

受託者のコモンローの権利を否定

受益者にコモンローの権利・所有権を認める。

（封建的土地負担・税等を課す）

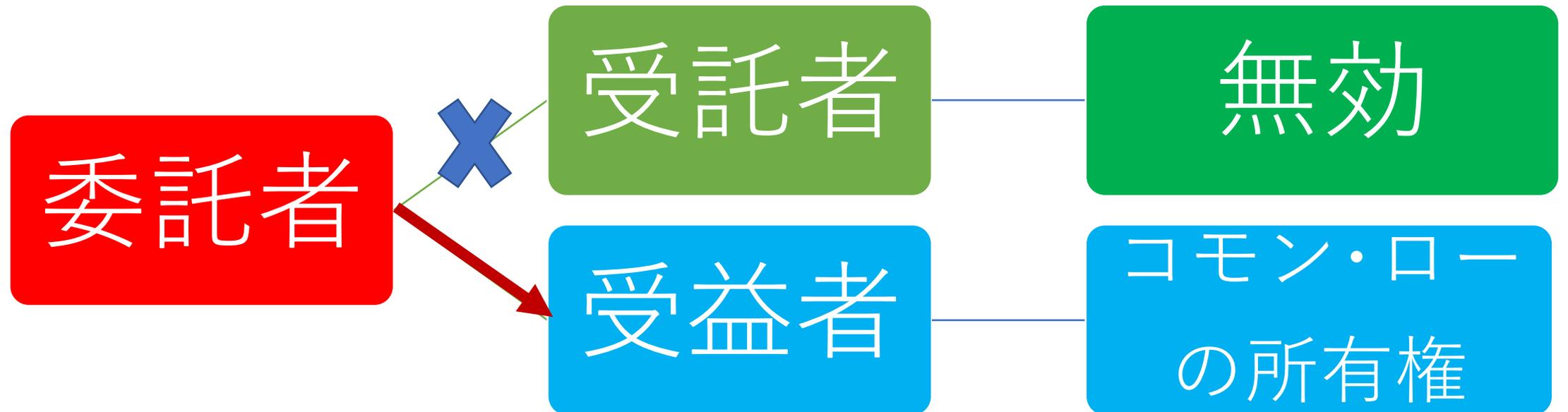
●積極的ユースの（放任）許容

受託者にコモンローの権利を肯定

受益者にエクイティの権利を認める。

消極的ユースの法律構造

⇒ 委託者と受益者間の単純な所有権譲渡
関係に構成



ユース法制定の効果

○ **積極的ユースの信託制度へ昇華**

USEからTRUSTへ

○ 二重のユースの肯定（17世紀）

○ 財政収入の確保（？）

参考資料

- 指 昭博 (編) 『ヘンリ8世の迷宮ーイギリスのルネサンス君主』 昭和堂 (2012)
- 君塚直隆 『悪党たちの大英帝国』 新潮社 (2020)
- 陶山昇平 『ヘンリー八世: 暴君か、カリスマか』 晶文社 (2021)
- W.G.Hoskins “The Age of Plunder” Longman (1976)
- ステューブン・グリーンブラット (訳 河合 祥一郎) 『暴君ーシェイクスピアの政治学』 岩波書店 (2020)
- 水島廣雄 『信託法史論』 学陽書房 (1980)
- 大阪谷公雄 『信託法の研究 上』 信山社 (1991)
- 森泉晃 『イギリス信託法理の研究』 学陽書房 (1992)